

ガードネラ寒天培地 (GAR)

Gardnerella agar (GAR)

Gardnerella vaginalis の選択分離培養

用途

ガードネラ寒天培地は生殖器系検体の *Gardnerella vaginalis* の検出のための選択培地です。*Gardnerella vaginalis* は単独またはある種の嫌気性菌(*Mobiluncus* 属, *Bacteroides* 属, *Prevotella* 属)と共に様々な生殖器・泌尿器系感染症の原因になります(1)。

原理

ヒト血液の含有によって *Gardnerella vaginalis* の発育を支持し、コロニー周辺にβ溶血を形成します(2, 3)。

培地に含まれる抗生物質は、ほとんどのグラム陰性菌と酵母様真菌を抑制します(4)。

キット構成

調整済み培地	
REF43411 平板培地	10 枚(90mm) × 2 パック
GAR*	

*各シャーレに印字

組成

精製水中の組成(g/l)

カゼインおよび肉ペプトン(ウシとブタ)	10g
動物性タンパク加水分解物(ウシまたはブタ)	10g
ハートペプトン(ウシまたはブタ)	3g
コーンスターチ	1g
塩化ナトリウム	5g
寒天	13.5g
Tween 80	0.075g
ヒト赤血球*	50mL
ナリジクス酸	0.015g
コリスチン	0.010g
アンホテリシン B	0.002g
pH7.1	

*この製品は、HBs 抗原、HIV1 抗体、HIV2 抗体および HCV 抗体において陰性であることが確認されています。しかし、現在実用化されている検査方法において完全にこれらの感染を否定することはできないことから、感染の可能性がある製品として取り扱いには十分注意し、感染材料の取り扱いに関する通常の注意事項を遵守してください。

必要な器材

- 大気環境調整装置
- ジャー
- ふ卵器
- または、大気環境調整機能付き恒温チャンバー

追加試薬

- コロンビア 5%ヒツジ血液寒天培地(Ref. 43041)

使用上の注意

- *in vitro* 試験のみにおいて使用して下さい。
- 熟練者が使用して下さい。
- 本培地はヒト由来の原料を含みます。感染性のある病原体がないことを全て保証する分析方法は確立されていません。よって、潜在的に感染の可能性があるものとして充分注意の上お取り扱い下さい(Laboratory biosafety manual-WHO-Geneva-latest edition をご覧下さい)。

- 本製品は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(摂取または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の注意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。
安全ガイドライン: NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue; Approved Guideline – Current Revision» **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories – CDC/NIH – Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- パッケージの損傷した製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションや溶血の起きている培地または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 性能データは取扱説明書に記載されている操作方法に従って使用し得られたものです。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 試験結果の解釈は、患者背景、検体の由来、コロニー形態および顕微鏡学的形態を含めて考慮して下さい。また必要に応じて、その他の試験方法で結果を確認して下さい。

保管方法

- 箱未開封の状態、2-8°C下で有効期限まで保管可能です。
- 箱開封後セロファン袋中では、2-8°C下で2週間保管可能です。

検体

生殖器系材料を培地に直接塗布します。

採取や輸送に関してはGLP(Good Laboratory Practices)に準拠し、検体の種別によって適切に処理して下さい。

使用法

1. 培地を室温に戻します。
2. 検体を塗布し、プレートを適切な大気環境(嫌気環境下)で培養します。必要に応じて大気環境調整装置を使用して下さい。
3. フタを下側にして37°Cで培養して下さい。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。48時間培養後、結果の読み取りを行います。培養時間の延長が必要となる場合もあります。

注意: 溶血性を比較するために、ヒツジ血液添加コロンビア寒天培地の併用をお勧めします。

判定

- 培養後、細菌の発育を観察します。
- 特徴的β溶血(コロニーの周囲や下に明瞭な溶血帯が存在)の有無を記録します。β溶血がヒト血液寒天培地上のみに観察される場合、*G. vaginalis* であることが強く予測されます。
- 結果は、直接診察の実施と患者履歴を考慮して確認して下さい。

- 疑わしいコロニーは生化学的試験により同定して下さい。

品質管理

プロトコール:

本培地は下記の菌株を用いて試験を行いません:

- *Gardnerella vaginalis* ATCC 14018(嫌気培養)
- *Candida albicans* ATCC 60193

精度管理限界値:

菌株	33-37°Cでの結果	
<i>Gardnerella vaginalis</i> ATCC 14018	48 時間後に 発育	β 溶血
<i>Candida albicans</i> ATCC 60193	48 時間以内は 部分的に抑制	

注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

留意事項

- 発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性を有する *G.vaginalis* の菌株は発育しないことがあります。

性能

性能は細菌 39 株 (*G.vaginalis*, *Lactobacillus* 属, コリネバクテリア, その他のグラム陽性・陰性菌, 嫌気性菌) と酵母様真菌 3 株 (*Candida* 属, *Saccharomyces* 属) を用いて 37°C 下で検討されました。

発育支持能:

11 株の *G.vaginalis* が 24 時間以内に他のグラム陽性菌 15 株のうちの 14 株と同様に発育しました。

選択性:

試験された 8 株のグラム陰性菌と 3 株の酵母様真菌は 48 時間培養で発育が抑制されました。

試験された 5 株の嫌気性菌のうち、4 株は 48 時間以内に発育しませんでした。

溶血性:

G.vaginalis の全ての菌株において、48 時間以内に β 溶血がみられました。

注意: β 溶血は *G.vaginalis* のみに特徴的な性状ではありません: 他のグラム陽性菌も β 溶血を示すことがあります。

廃棄処理

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

参考文献

1. CASIN I. – Diagnostic bactériologique de *Gardnerella vaginalis* - Feuillet de Biologie, 1986, vol. 27, n°149, p. 25-30.
2. LEFEVRE J.C., PRERE M.F., LARENG M.B. – Isolement et identification de *Gardnerella vaginalis* en pratique courante - Rev. Méd. Toulouse, 1983, vol. 19, p. 117-119.
3. PIOT P., VAN DYCK E., TOTTEN P.A. and al. – Identification of *Gardnerella* (*Haemophilus*) *vaginalis* - J. Clin. Microbiol., 1982, vol. 15, n°1, p. 19-24.
4. TOTTEN P.A., AMSEL R., HALE J. and al. – "Selective differential human blood bilayer media for isolation of *Gardnerella* (*Haemophilus*) *vaginalis* - J. Clin. Microbiol., 1982, vol. 15, n°1, p. 141-147.

記号

記号	内容
REF	品番
	製造元
	保管温度
	有効期限
LOT	ロット番号
	使用手順を参照
	試験可能数

(問い合わせ先)

製品関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

ビオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>

 bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX